

Title	慶應義塾大学国文学研究室蔵「道成寺縁起絵巻」解題・影印
Sub Title	
Author	石川, 透(Ishikawa, Toru)
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication year	2005
Jtitle	三田國文 No.41 (2005. 6) ,p.49- 60
JaLC DOI	10.14991/002.20050600-0049
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-20050600-0049

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学国文学研究室蔵「道成寺縁起絵巻」解題・影印

石川 透

解題

「道成寺縁起絵巻」は、紀州の道成寺を舞台にした話で、古くからよく知られた作品である。道成寺では、現代においても、中世の絵巻をもとに、絵解きが行われている。また、この話は、能「道成寺」としてもよく知られ、その影響下にさまざまな舞踊が作られ、現代でもしばしば演じられている。

このように、よく知られた作品であるために、絵巻としても数多く作られている。基本的には、道成寺に伝わる「道成寺縁起絵巻」をもとにしているのが、江戸時代には、絵も詞書も大きく変容してしまった作品が存在しているのである。

御伽草子の各作品の製作は、多くが江戸時代前期から中期で終わるのに対して、この「道成寺縁起絵巻」の製作は、江戸中後期から近代に至るまで続くのである。

そのような作品の例として、本書を影印のかたちで紹介する。本書の書誌は以下の通りである。

番号、JL二A・一一九五

形態、絵巻、一軸

時代、「江戸中後期」写

寸法、縦三〇・〇糎

表紙、萌葱色金繡表紙

外題、なし

内題、なし

料紙、斐紙

字高、二四・一糎

奥書、なし

以下に、慶應義塾大学国文学研究室蔵「道成寺縁起絵巻」を順番通り、影印で掲出する。

















